

# DKS

株主のみなさまへ 第151期

## 通期株主通信

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

証券コード4461 **第一工業製薬株式会社**





代表取締役  
会長 兼 社長

坂本隆司



グローバル化に進むシンボルとしてDKSグループのロゴマークを新しくしました。これは飛躍への行動を象徴するマークです。「1000への挑戦」に向かい成長する架け橋（アーチ）を表現しています。

社は「産業を通じて、国家・社会に貢献する」

社訓「品質第一」「原価逡減」「研究努力」

## 工業用薬剤メーカーとして「こたえる、化学」を高め存在感のある企業であり続けます。

### Q1 社長就任にあたっての抱負をお聞かせください

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび6月24日の株主総会終了後開催の取締役会により、代表取締役会長兼社長に就任いたしました。

株主のみなさまはもちろんのことですが、お取引先さま、社員、社会というステークホルダーの全ての方々にお伝えしたいことが3つあります。まず1つ目は、「チェンジ100計画」の6年間に積み重ねた改革の定着を数字で確かめてゆくことです。2つ目は、新5カ年経営計画として策定した「REACT1000」を、飛躍に向かって着実に始動し遂行させることです。そして、3つ目は、その飛躍を担う後継者をつくることにあります。

新経営計画を5年間としています。これらの3つの抱負はその期間にとらわれることなくできるだけ早く実現したいと願っています。3つの思いを実現しながら、これまでに取り組んできた企業価値の向上を目指すガバナンスの強化にさらに努める所存です。

### Q2 「チェンジ100計画」の最終年の総括をお聞かせください

百周年を機に始めた「チェンジ100計画」のステージⅠで体質転換に取り組み、ステージⅡでは「収益を伴う拡大」を目指しました。最終年度（2015年3月期）の目標とした売上高の600億円は、売上高555億97百万円にと

どまりました。しかし、当期純利益は17億82百万円で、過去最高を記録しました（営業利益29億44百万円、経常利益27億17百万円も過去最高）。量としては目標に及びませんでした。質で示すことができたと思っています。何よりも、未来作りのための経営インフラは、新基幹システムの着手を含めて整えました。

私はバランスシートである「貸借対照表」を社内では「体格対照表」と言い換えて説明しています。余分な脂肪をかかえたメタボ体質は、企業経営においても健康上の危険信号です。筋肉質でたくましく健全なバランスシートにしたいと常に思っています。「チェンジ100計画」、ステージⅡの過程で純資産が増えて、自己資本比率は2014年3月末の32.6%から38.7%になりました。新しい設備投資に必要な資金を公募増資によって約35億円調達したことが主因です。株主のみなさまのご理解のおかげと感謝申し上げます。まだ期待した水準には遠い状態ですが、みなさまに納得していただけるようさらなる筋肉質な企業を目指します。

企業の使命は、存続して成長することです。メーカーが成長を続けるために設備投資が欠かせません。その使命を果たすために買収を含む投資に注力しました。四日市合成株式会社という合併企業を当社100%の子会社化したことで、グループの総資産を増やして事業領域を広げることができました。加えて、四日市の霞コンビナートに新しく10万平方メートルの新工場用地を購入しました。新たな事業投資の道筋をつけ、昨年の夏に新工場建設に取り掛かりました。

この新工場では、3つのステップに分けた展開を考えています。まず、用地の三分の一を使って現在の有力事業の工場を建てます。この7月の竣工がほぼ確定しており、秋には稼働する予定です。そして、お取引さまの需要を見計らいながら、計画している第二、第三の設備投資を判断していきます。なお、先にも触れた四日市合成株式会社では、古くなった設備を新しくして、拡大する海外市場へ対応します。新計画推進の要となる当社のマザー工場の礎は築きました。



### Q3 新5カ年経営計画「REACT1000」についてお聞かせください

新5カ年経営計画「REACT1000」の目標数値は、2020年3月期（第156期）に売上高750億円、純利益36億円としました。計画の名称は、「RE=何度も ACT=行動」する、行動を繰り返して目標に向かうという意味を含んでいます。4つのステークホルダーの期待にこたえる、双方への「反応」という意味あいも含んでいます。

1000という数値には、経営の思いを反映させました。会社に関係するお一人おひとりの想いやニーズにこたえていくための目印です。当社の全員にしっかり理解してもらうため、私が現場の各地へ赴いて直々に説明しています。「こたえる、化学」を実践して売上高1,000億円企

業への歩みを進めようと強調しています。1000という数字は、身の丈よりも大きな数字かもしれません。しかし、新5カ年経営計画の副題である「飛躍への行動」を社員全員が理解し行動すれば可能性は十分にあります。1,000億円に向かうために、まず750億円の達成に全力を尽くします。

「REACT1000、AND100×6」と、実行上の行動要領を社内に示しています。ANDの、A アクチャルは既存の有力事業を6つ、N ネクストは新規対象事業6つ、さらに、D ドリームはM&Aや連携事業の6つです。1000に向かう戦略あるいは施策となります。繰り返し、繰り返し「飛躍への行動」を実践することで売上高、総資産、また企業価値としての1000に近づいていけると信じています。

「REACT1000」を実行する工程に「社外役員会議」を新しく設けます。社外役員の視線で「REACT1000」の進行状況や社内経営陣の判断をチェックする機能を持ちます。社外の目は株主のみならず、また社会の目でもあり、さらなるガバナンスの強化につながるものです。昨年まで、株主総会とその後の経営説明会は京都の本社で催していました。この経営説明会は今年から、東京でも行います。また、株式マーケットとの対話を進めるため、アナリストへの会社説明会を行うことを決めました。これらを通して、会社の進む方向を一層に確かにする情報を収集し、そして発信することができると考えています。

「チェンジ100計画」期間に着工した四日市の霞工場が果たす役割は大きくなります。新事業や新分野の開発

と生産の効率性を高めて、国内での優位性を確かなものにします。それが、海外展開の前提条件と位置づけています。“新たなDKSグループの未来を生み出す場所”という意味の「マザー工場」なのです。生産現場の近くに、研究所を備える計画であり、お取引先、大学や団体などと連携し、材料と技術の開発を進めていきます。

化学は不思議な分野と診ています。分析した成分はわかっても、温度のかけ方、時間のかけ方、かき混ぜ方が違うと、同じ性能は出てきません。生産と研究の隣接によってそれぞれの培ったノウハウの活用がスピーディーになります。産業が化学化する21世紀だと思っています。地方創生の期待も高まっています。「こたえる、化学」を実現し、地域にも貢献ができる企業に成長したいと念じています。

1000を掲げた私には、1500、2000の夢があります。まずは2020年で描く1000、次の2025年の1500、そして2030年の2000。2030年にオンリーワンを3つ持ち、ファインケミカルメーカーとして、世界が注目する企業になることです。1000への挑戦が始まりました。

#### Q4 株主のみなさまへ メッセージをお願いします

DKSグループ一丸となりこれら施策を進めることで、中長期的な成長を目指してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

平成27年6月

新5カ年経営計画「REACT1000—飛躍への行動を—」で

“こたえる、化学”を実践し、  
1,000への挑戦に向けて  
リアクトしていきます。



飛躍への行動を

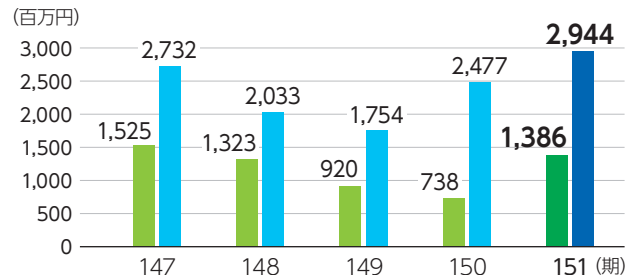
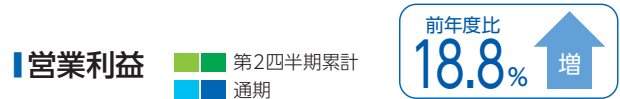
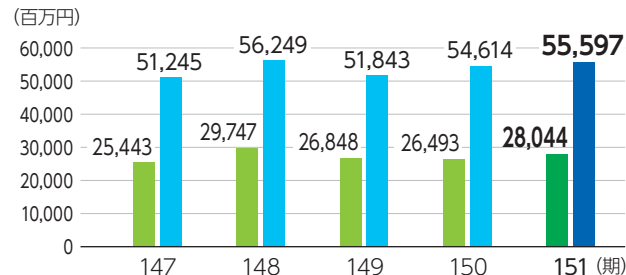


**経営方針**

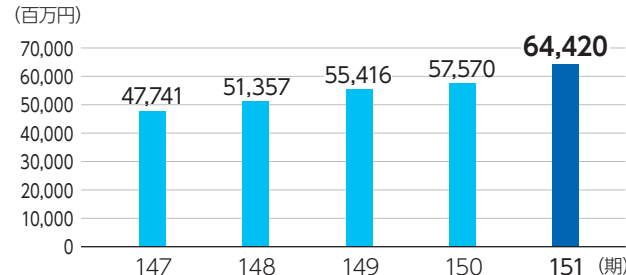
- ①新しい企業価値の創造  
保有資産の産み出す業績と株式時価総額の最大化に努めます。
- ②誰にもわかる企業像づくり  
企業イメージの認知度の向上を図ります。
- ③さらなるガバナンスの深化  
企業統治に意を用い経営の効率化に取り組みます。
- ④適切なROE水準の維持と向上  
中長期を展望したROE指標を意識します。
- ⑤協調による優位性の構築  
取引先、大学、団体などと連携し材料と技術の開発を進めます。
- ⑥マザー工場の加速と充実  
四日市複合基地構想を柱に全社的な生産性の向上を図ります。

「REACT1000、AND100×6」の行動要領	社員	株主	顧客	社会
<b>R</b> (RETURN) (還元)	貢献への適正評価	1000へのPER・PBR	アクティブ・パートナー	経済の好循環
<b>E</b> (EXPORT) (海外)	海外比率の向上	統合事業報告書	マーケット開発	マザー工場
<b>A</b> (ADVANCE) (前進)	アクチャル100×6	赤字事業撤退	ドリーム100×6	ブランド
<b>C</b> (CREATE) (創出)	ネクスト100×6	割安株から成長株へ	特命外交	地方創生
<b>T</b> (TRAIN) (育成)	人材鍛錬	社外役員会議	IT販促	出前授業

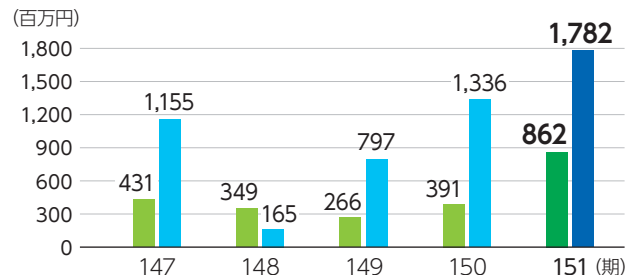
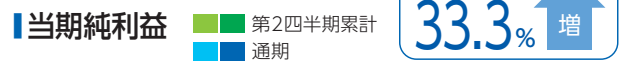
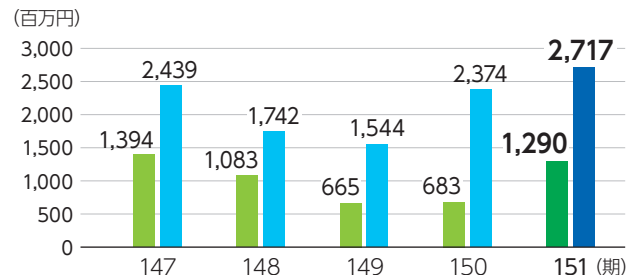
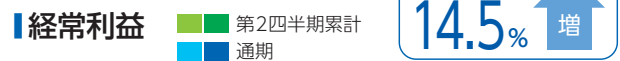
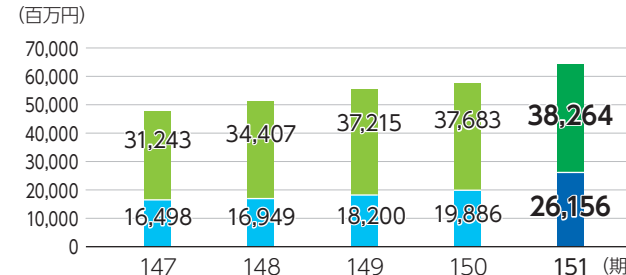
# 財務データ (連結)



## 総資産



## 負債及び純資産



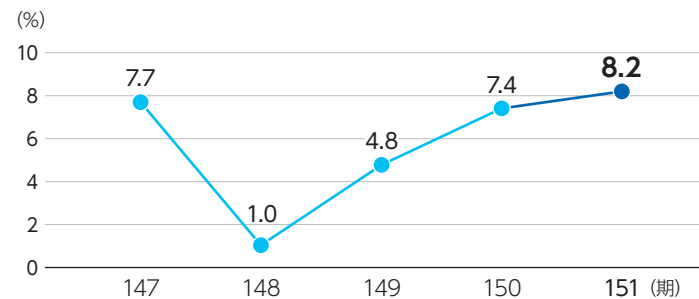
## POINT ▼

**資産:** 資産は第150期末と比べ68億50百万円増加し、644億20百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、商品及び製品などのたな卸資産、四日市霞工場の建設が順調に進行したことによる建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどによるものです。

**負債:** 負債は第150期末と比べ5億80百万円増加し、382億64百万円となりました。その主な要因は、短期借入金は減少しましたが、長期借入金が増加したことなどによるものです。

**純資産:** 純資産は第150期末と比べ62億69百万円増加し、261億56百万円となりました。その主な要因は、新株発行により資本金と資本剰余金それぞれ増加したことに加え、当期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことなどによるものです。また、自己資本比率は、第150期と比べ6.1ポイント改善し38.7%となりました。

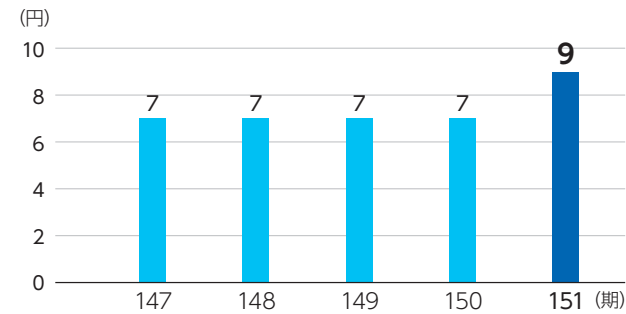
## ROE(自己資本当期純利益率)



## POINT ▼

**ROE:** ROEは第150期末と比べ0.8ポイント改善し、8.2%となりました。新中期経営計画「REACT1000-飛躍への行動を-」では、経営方針の一つとして「適切なROE水準の維持と向上」を掲げております。第156期には、ROE10%を目標に、ROEを意識した経営に努めます。

## 1株当たりの配当金

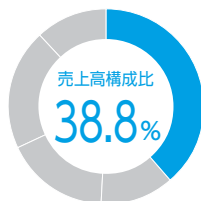


## POINT ▼

**配当金:** 期末の配当金につきましては、普通配当は1株当たり7円とさせていただきます。また、昨年8月に着工した四日市新マザー工場建設の第一次工程は、今年の秋に完成する見込みです。資金計画も予定通りでありますので、記念配当として1株当たり2円を加え、合計9円の配当とさせていただきます。

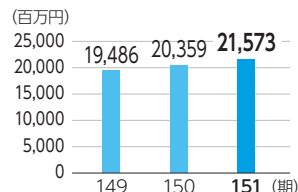
# 事業セグメントの概況

## 界面活性剤事業



売上高 215億73百万円 前年度比 6.0% ↑ 増

界面活性剤は、IT・電子用途の活性剤が大幅に伸長したこと等により、総じて伸長しました。

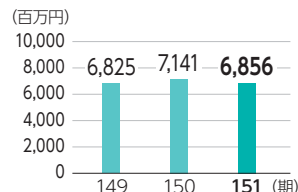


## アメニティ材料事業

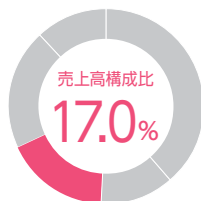


売上高 68億56百万円 前年度比 4.0% ↓ 減

アメニティ材料は、セルロース系高分子材料とシヨ糖脂肪酸エステルが低調に推移したこと等により、総じてやや低迷しました。

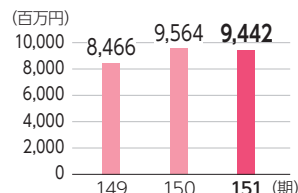


## ウレタン材料事業



売上高 94億42百万円 前年度比 1.3% ↓ 減

ウレタン材料は、土木用薬剤は大幅に伸長しましたが、重防食塗料用途の需要が鈍化したこと等により、総じてやや低迷しました。

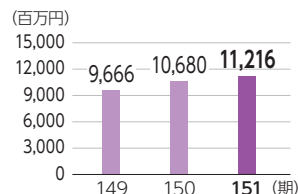


## 機能材料事業



売上高 112億16百万円 前年度比 5.0% ↑ 増

機能材料は、光硬化樹脂用材料の電子材料用途が伸長したことや、水系ウレタン樹脂のフィルム用途が順調に推移したこと等により、総じて伸長しました。

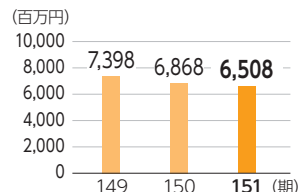


## 電子デバイス材料事業



売上高 65億8百万円 前年度比 5.2% ↓ 減

電子デバイス材料は、射出成形用ペレットは順調に推移しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストが低迷したこと等により、総じて低迷しました。



## トピックス



### アメニティ材料事業

## ノンフライ麺のほぐれやすさを改善する天然由来の食品添加物 シヨ糖脂肪酸エステル DKエステル®

DKエステルは、昭和46年(1971年)の製造・販売開始から、食品添加物としてクリーミーな舌触り、ふわっとした軽い口当たり、サクサクした歯ごたえなど、さまざまな食感を演出してきました。食のトレンドが次々と生まれる中、現代の食生活に応える新たな“おいしさづくり”に挑戦しています。

#### 市場動向

油で揚げない・低カロリー・もちもち食感。  
健康・グルメ志向から、ノンフライ麺が近年流行しています。

世界で食される日本発祥の即席麺。長く油で揚げたフライ麺が主流でしたが、近年「ノンフライ麺」の持つ生麺食感のおいしさ、低カロリーのヘルシーさが健康・グルメ志向とマッチしたことで再び注目され、需要を拡大しています。

#### 製品機能性

各メーカー様からのご要望に応じ、「DKエステル」を  
ノンフライ麺のほぐれ剤に提案しています。

ノンフライ麺は、製造工程で麺を油で揚げずに熱風処理をします。その際、麺表面のでんぷんが糊化し麺同士が結着してしまうので、調理時に麺のほぐれ性が悪くなるという課題がありました。そこで、でんぷんの溶出を抑制させるという機能性を持つ「DKエステル」をノンフライ麺に応用することで、麺のほぐれやすさを向上させ、各メーカー様のご要望に応える提案をしています。

#### 今後は

まだ見ぬ「おいしさ」を追求し、  
世界の嗜好にあった食品づくりに応えていきます。

食のトレンドは、時を要さず世界中を駆け巡る時代です。各地域に伝わる「食の嗜好」と話題性のある「新たなおいしさ」を融合させ、グローバルな製品展開を目指していきます。



「DKエステル」は、  
ノンフライ麺を鍋でゆでる際、  
麺をほぐしやすくします。

原料は砂糖とパーム椰子の油。  
無味・無臭で食味に影響のない  
天然由来成分です。

ノンフライ麺に  
油揚げ麺に  
医薬品に  
サプリメントに

乳製品に  
製菓に  
飲料に  
etc...

DKエステル

用途はどんどん広がっています。

## 第151期定時株主総会決議ご通知

平成27年6月24日開催の当社第151期定時株主総会において、下記のとおり報告と決議が行われましたので、ご通知申し上げます。

記

### 報告事項

1. 第151期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)  
事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人  
及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第151期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)  
計算書類の内容報告の件

本二件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり可決承認され、期末配当金は1株につき9円(普通配当7円及び記念配当2円)と決定いたしました。

#### 第2号議案 取締役14名選任の件

本件は、原案のとおり可決承認され、坂本隆司、大柳雅利、松本和久、蛭子博幸、赤瀬宜伸、浦山 勇、藤岡敏式、大西英明、北田 明、祝迫浩一、中谷誠一、本間義昭、青木素直、秋本信幸の14氏が取締役に選任され、就任いたしました。

#### 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり可決承認され、人西智之氏が補欠の社外監査役に選任されました。

株主総会終了後に開催の取締役会により、次のとおり選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役 会長兼社長	坂本隆司(社長兼務)	代表取締役 常務取締役	松本和久(昇任)
常務取締役	蛭子博幸	常務取締役	赤瀬宜伸
取締役相談役	大柳雅利		

以 上

# 会社概要・株式の状況 (平成27年3月31日現在)

## 会社概要

社名	第一工業製菓株式会社
創業	明治42年4月
創立	大正7年8月
資本金	88億9,520万円
従業員数	508名(連結944名) (平成27年3月31日現在)

## 取締役、監査役、執行役員 (平成27年6月24日現在)

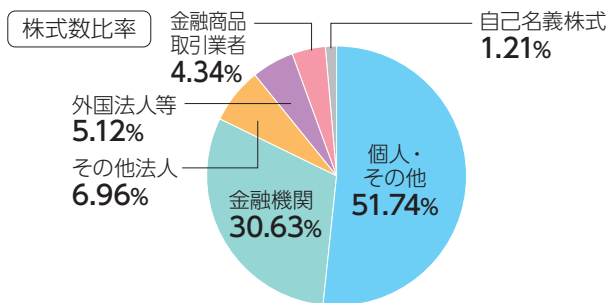
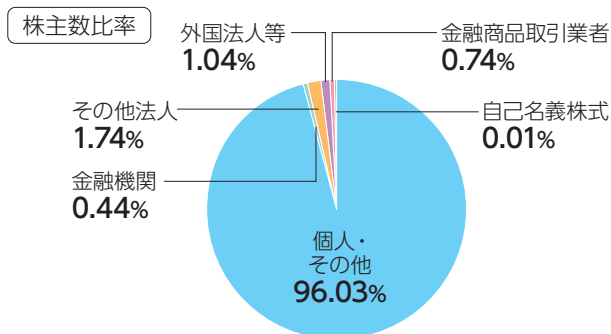
役職	氏名	役職	氏名
代表取締役 会長兼社長	坂本隆司	代表取締役 常務取締役	松本和久
常務取締役	蛭子博幸	常務取締役	赤瀬宜伸
取締役相談役	大柳雅利	取締役	浦山 勇
取締役	藤岡敏式	取締役	大西英明
取締役	北田 明	取締役	祝迫浩一
取締役	中谷誠一	取締役(社外取締役)	本間義昭
取締役(社外取締役)	青木素直	取締役(社外取締役)	秋本信幸
常勤監査役	関口 恒	常勤監査役	西崎信一
監査役(社外監査役)	井手秀彦	監査役(社外監査役)	勝田純一
執行役員	角 英行	執行役員	村上 修
執行役員	岡本修身	執行役員	三浦宏之
執行役員	重政治寛	執行役員	丹羽浩一
執行役員	芝 泰清	執行役員	橋本賀之
執行役員	山路直貴		

## 事業所

- ・本店
- ・本行
- ・東京本社
- ・大阪支社
- ・名古屋支店
- ・九州支店
- ・研究所
- ・四日市事業所 千歳工場
- ・四日市事業所 霞工場
- ・大瀧事業所
- ・滋賀事業所

※四日市事業所は、これまでの製造拠点を千歳工場と称し、これに現在建設中の霞工場を加えて表示しております。

## 株主分布状況



## 大株主一覧(上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	3,067,000	5.74
山内 正義	2,416,000	4.52
株式会社みずほ銀行	2,135,000	4.00
株式会社京都銀行	2,085,000	3.90
朝日生命保険相互会社	1,697,000	3.18
第一工業製菓従業員持株会	1,176,000	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,137,000	2.13
DKS取引先持株会	1,110,000	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	749,000	1.40
株式会社滋賀銀行	700,000	1.31



## INFORMATION

### 四日市事業所霞工場(マザー工場)の建設

昨年8月から建設が始まった三重県四日市第3コンビナート霞地区の新工場の工事は、7月の竣工に向け順調に進んでいます。

秋から一部稼働予定のこのマザー工場では、第一段階として、環境・エネルギー分野から着手していきます。需要が見込まれる燃料電池用部材・電子基板用絶縁材料や、社会インフラの補修に貢献するトンネル工事中固結剤等の生産能力の強化を図ります。また、複合的なプラントを中枢で一括統制するコントロールセンターを機能させ、総合的な生産性の効率化を図ります。

これらのマザー工場での戦略を足掛かりに、グローバルに飛躍する新たなDKSグループにご期待ください。



第一プラント(左)とコントロールセンター棟(右)の写真(平成27年5月)

## 株主メモ

創業年月	明治42年4月(1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	1,000株
発行済株式総数	53,421,609株 (平成27年3月31日現在)
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなり

お問合せ先	ますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、みずほ証券(株)及びみずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行(株) 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金のお支払 上場取引所	みずほ信託銀行(株)及び(株)みずほ銀行の各本店及び全国各支店 東京証券取引所(証券コード4461)

## 第一工業製薬株式会社

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5  
TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356  
<http://www.dks-web.co.jp>

環境・社会活動はホームページへ  
 <http://www.dks-web.jp/corporate/ecology.html>

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK